決算ハイライト

2025年3月期決算について

感動を、シェアしたい。
大分銀行

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

目次

1．2025年3月期決算の概要	P. 1
2．2025年3月期　単体損益の状況	P. 2
3．資金利益の状況	P. 3
4．与信費用・不良債権の状況	P. 4
5．貸出金の状況	P. 5
6．預金等の状況	P. 6
7．有価証券の状況	P. 7
8．2026年3月期　業績予想	P. 8

（注）　本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

感動を、シェアしたい。
大分銀行

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

1 2025年3月期決算の概要

（注）本資料の増減額(率)につきましては、本資料上の開示単位にて算出しております。

感動を、シェアしたい。 大分銀行

1．2025年3月期連結経営成績

（単位：百万円）

	2025年3月期	2024年3月期	増減	直近予想※	予想比	
連結経常収益	77,922	73,240	4,682	74,500	4.6%	3,422
連結経常利益	11,088	9,083	2,005	9,800	13.1%	1,288
親会社株主に帰属する当期純利益	7,555	6,536	1,019	6,800	11.1%	755

※2024年11月11日公表数値

(参考)2026年３月期連結業績予想

（単位：百万円）

	2026年3月期	2025年3月期	増減
連結経常収益	80,300	77,922	2,378
連結経常利益	13,200	11,088	2,112
親会社株主に帰属する当期純利益	9,000	7,555	1,445

2．2025年3月期経営成績

（単位：百万円）

	2025年3月期	2024年3月期	増減	直近予想※	予想比	
経常収益	65,808	61,700	4,108	62,500	5.3%	3,308
(コア業務純益)	16,768	11,706	5,062	13,400	25.1%	3,368
経常利益	9,682	7,596	2,086	8,600	12.6%	1,082
当期純利益	6,626	5,560	1,066	6,000	10.4%	626

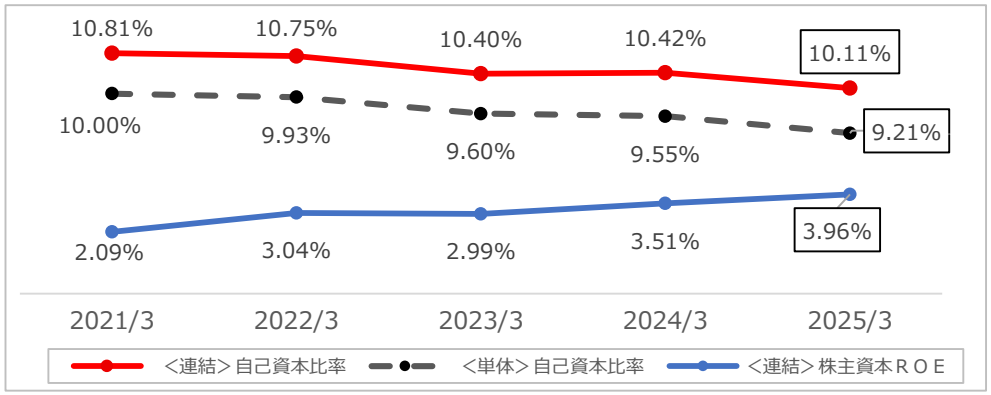
※2024年11月11日公表数値

(参考)2026年３月期業績予想

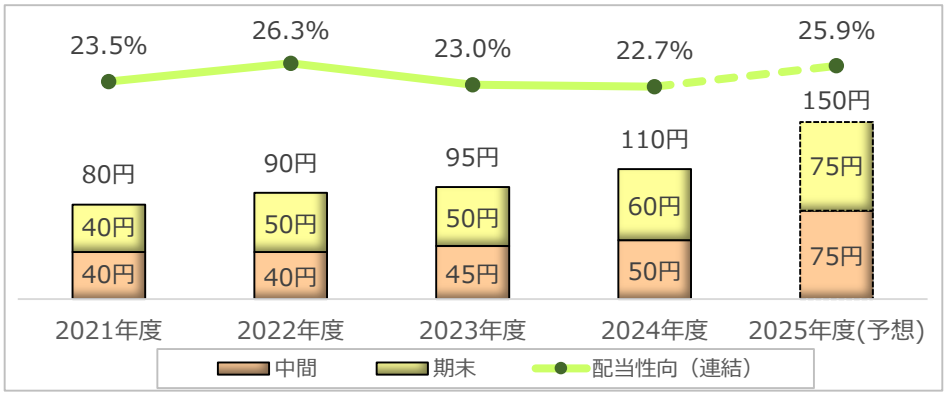
（単位：百万円）

	2026年3月期	2025年3月期	増減
経常収益	68,200	65,808	2,392
(コア業務純益)	13,100	16,768	▲ 3,668
経常利益	12,000	9,682	2,318
当期純利益	8,200	6,626	1,574

3．自己資本比率と株主資本ＲＯＥの推移



4．配当の状況（基準日ベース）



（１）当期決算は、連結は３期連続・単体は２期ぶりの増収増益決算となりました。
（２）連結の経常収益は、有価証券利息配当金や預け金利息及び貸出金利息の増加により、前期比46億円増加し779億円となりました。
（３）連結の当期純利益は、前期比10億円増加し75億円となりました。

2 2025年3月期　単体損益の状況

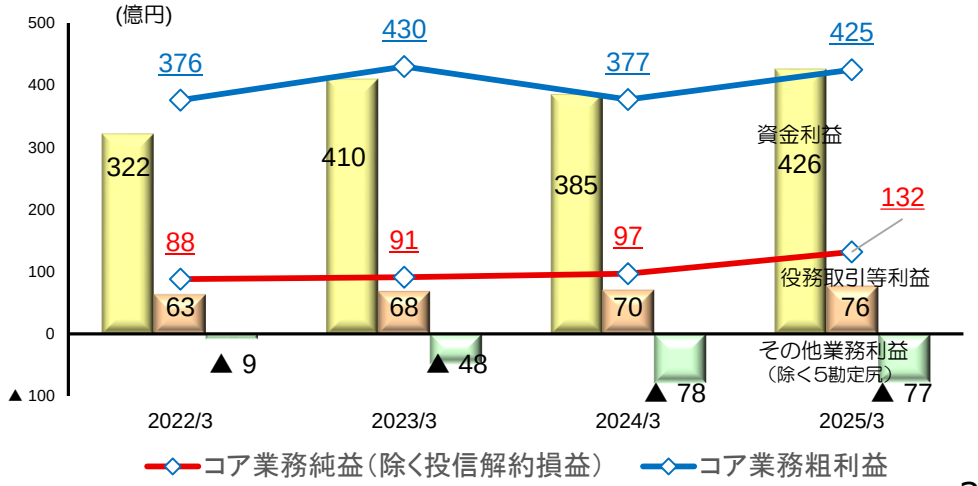
（単位：百万円）

	2025年3月期	2024年3月期比	増減率	2024年3月期
経常収益 ①	65,808	4,108	6.7%	61,700
コア業務粗利益（③+④+⑤） ②	42,517	4,769	12.6%	37,748
資金利益 ③	42,636	4,073		38,563
資金運用収益	48,796	5,970		42,826
資金調達費用	6,163	1,900		4,263
役務取引等利益 ④	7,659	644		7,015
役務取引等収益	9,901	936		8,965
役務取引等費用	2,241	292		1,949
その他業務利益（除く5勘定尻） ⑤	▲ 7,777	53		▲ 7,830
その他業務収益（　〃　）	－	－		－
その他業務費用（　〃　）	7,777	▲ 53		7,830
経　費（除く臨時費用処理分） ⑥	25,749	▲ 292		26,041
コア業務純益（②－⑥） ⑦	16,768	5,062	43.2%	11,706
除く投資信託解約損益	13,203	3,458	35.5%	9,745
与信費用 ⑧	643	1,644		▲ 1,001
一般貸倒引当金繰入額	487	620		▲ 133
個別貸倒引当金純繰入額	160	962		▲ 802
その他	▲ 4	60		▲ 64
有価証券関係損益 ⑨	▲ 6,542	▲ 1,310		▲ 5,232
国債等債券損益（5勘定尻）	▲ 11,858	▲ 656		▲ 11,202
株式等損益（3勘定尻）	5,316	▲ 654		5,970
その他臨時損益 ⑩	101	▲ 20		121
経常利益（⑦－⑧+⑨+⑩） ⑪	9,682	2,086	27.5%	7,596
特別損益	▲ 32	271		▲ 303
税引前当期純利益	9,649	2,357		7,292
法人税等合計	3,023	1,292		1,731
当期純利益 ⑫	6,626	1,066	19.2%	5,560
OHR（コア業務粗利益ベース）	60.56	▲ 8.42		68.98

【主な増減要因等】

③資金利益 （前期比＋4,073百万円）	政策金利引き上げにより預金等利息が増加したものの、有価証券利息配当金や貸出金利息等が大幅に増加。
④役務取引等利益 （前期比＋644百万円）	M&A等のコンサルティング機能の強化によるビジネス支援手数料や仲介資産残高積み上げによる証券仲介手数料の増加。
⑥経　費 （前期比▲292百万円）	ベースアップ実施等を行ったものの、退職給付費用の減少に加え、経費低減に努めたことにより減少。
⑧与信費用 （前期比＋1,644百万円）	お取引先に対する継続的かつ積極的な支援に加えて資本性ローンの導入を行ったことから与信費用が増加。
⑨有価証券関係損益 （前期比▲1,310百万円）	国内金利の上昇に対応するため、ポートフォリオの良質化に資する継続的なリバランスを実施。
⑫当期純利益 （前期比＋1,066百万円）	コア業務純益の増加により前期比19.2%の増益。

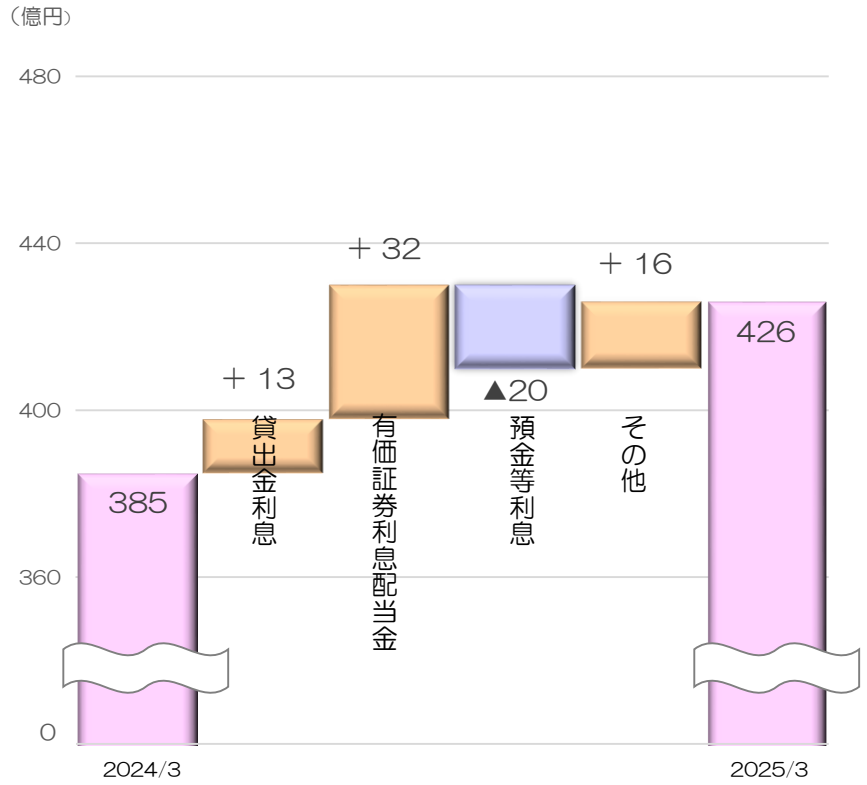
コア業務粗利益等の推移



© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

3 資金利益の状況

資金利益の増減要因



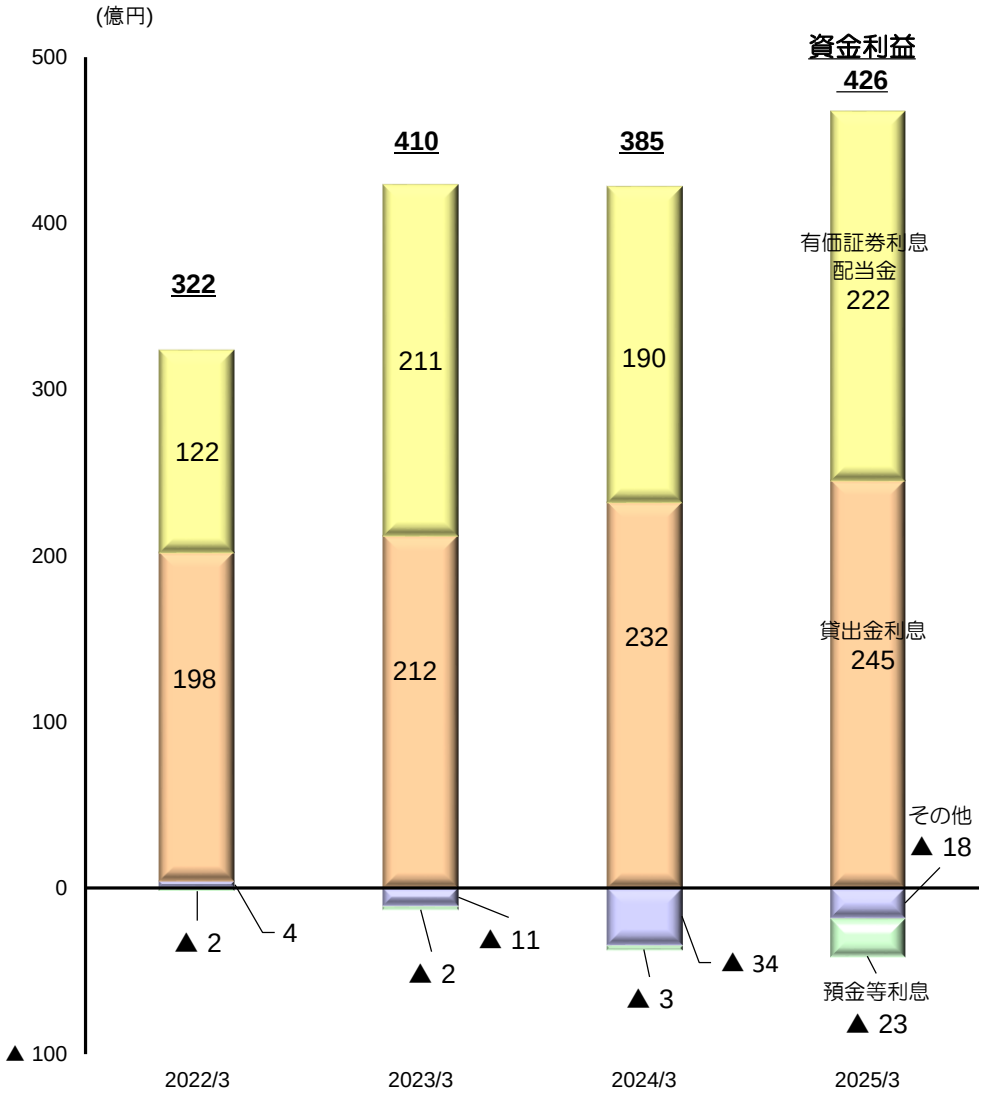
【貸出金利息と有価証券利息配当金の増減分析】　（単位：百万円）

	増減額		
		平残要因	利回要因
貸出金利息	1,266	743	523
有価証券利息配当金	3,188	▲ 144	3,332

【有価証券利息配当金の内訳】　（単位：百万円）

	2025年3月期	増減	2024年3月期
有価証券利息配当金	22,257	3,188	19,069
うち投信解約損益	3,565	1,604	1,961

資金利益の内訳推移



© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

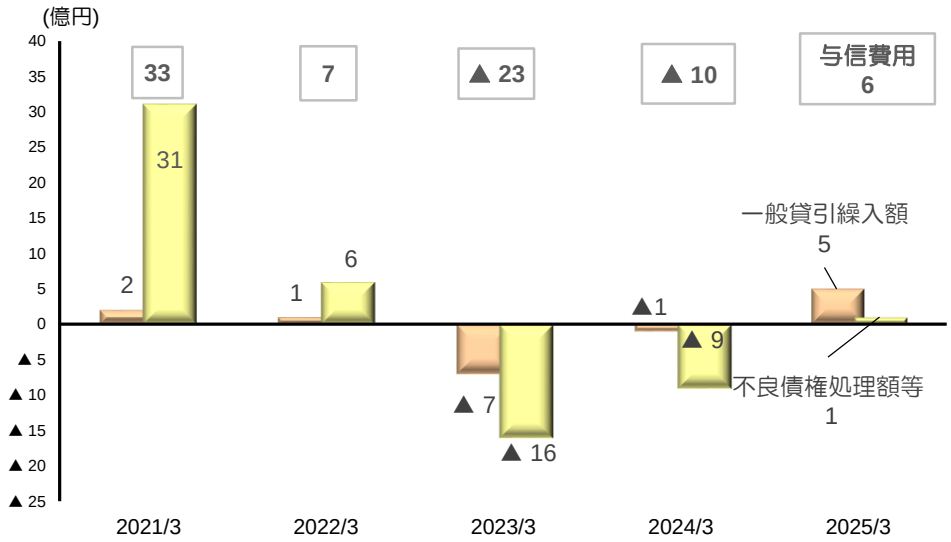
4 与信費用・不良債権の状況

与信費用

（単位：百万円）

	2025年3月期	2024年3月期	増　減
与信費用	643	▲ 1,001	1,644
一般貸倒引当金繰入額	487	—	487
不良債権処理額	156	▲ 64	220
貸出金償却	—	1	▲ 1
個別貸倒引当金純繰入額	160	—	160
延滞債権等売却損	—	—	—
その他	▲ 4	▲ 66	62
貸倒引当金戻入益	—	936	▲ 936
償却債権取立益	0	—	0

(注)与信費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益

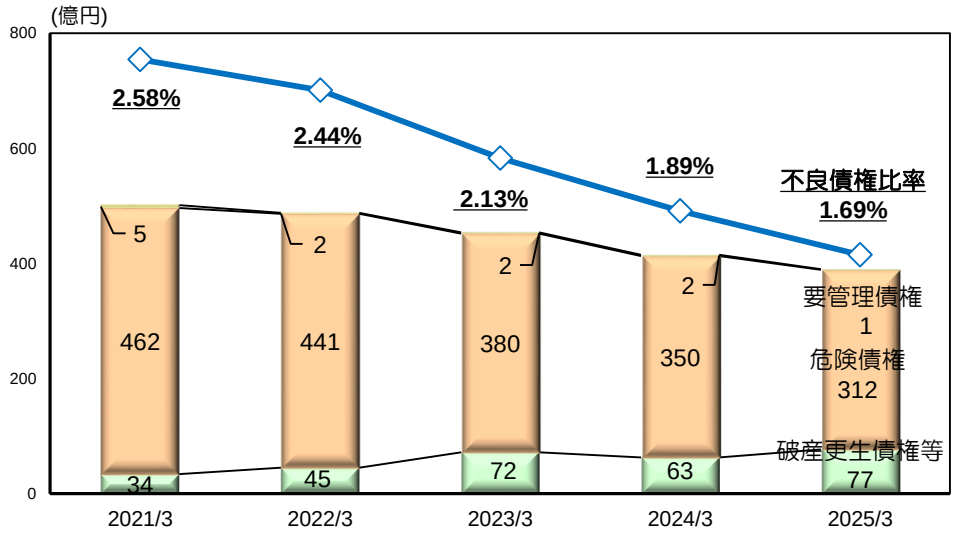


1．一般貸倒引当金繰入額は、お客さま支援に伴う引当対象債権の増加により4億87百万円の繰入となりました。
2．個別貸倒引当金純繰入額は、お取引先の債務者区分の変動等により1億60百万円の繰入となりました。
3．その結果、与信費用は6億43百万円となりました。

金融再生法開示債権

（単位：百万円）

	2025年3月末	2024年3月末	増　減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	7,719	6,342	1,377
危険債権	31,241	34,963	▲ 3,722
要管理債権	131	153	▲ 22
小　計	39,092	41,459	▲ 2,367
正常債権	2,271,001	2,146,745	124,256
合　計	2,310,094	2,188,204	121,890
不良債権比率（%）	1.69	1.89	▲ 0.20

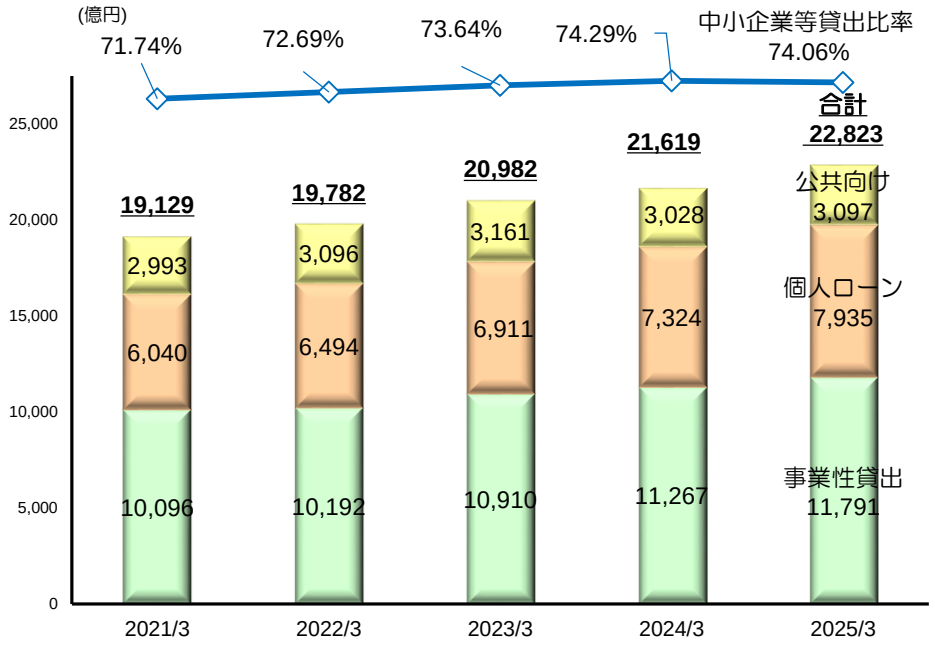


1．金融再生法開示債権残高は、前期末比で23億67百万円減少し、390億92百万円となりました。
2．不良債権比率は、前期末比0.20%低下し、1.69%となりました。

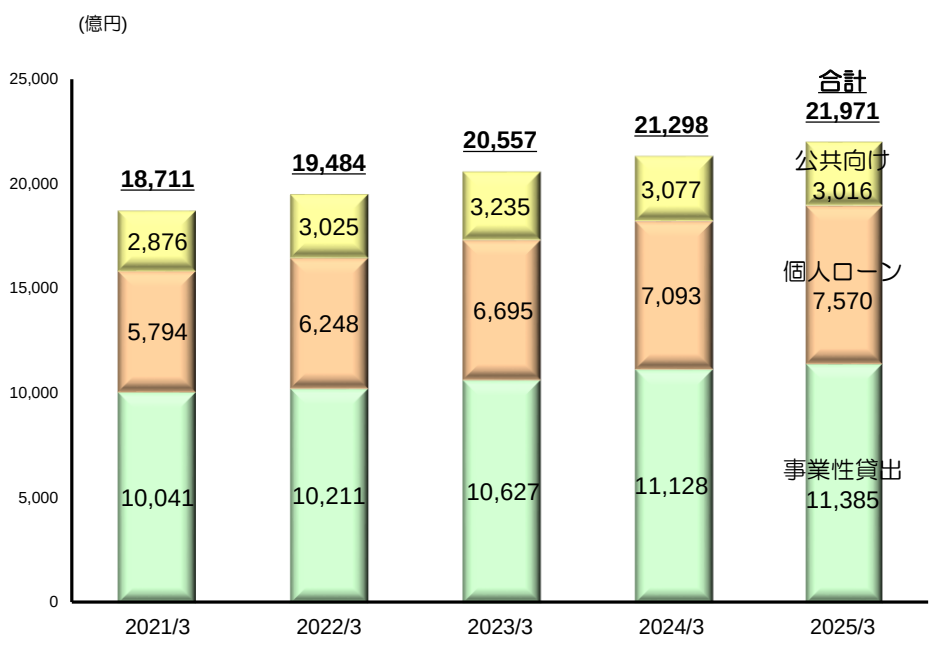
© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

5 貸出金の状況

貸出金末残推移



貸出金平残推移



（単位：億円）

	2025年3月末	2024年9月末比		2024年3月末比		2024年9月末	2024年3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	22,823	4.8%	1,058	5.5%	1,204	21,765	21,619
事業性貸出金	11,791	4.9%	553	4.6%	524	11,238	11,267
県内	7,301	1.9%	138	1.3%	98	7,163	7,203
県外	4,490	10.1%	415	10.4%	426	4,075	4,064
個人ローン	7,935	4.8%	368	8.3%	611	7,567	7,324
公共向け	3,097	4.6%	137	2.2%	69	2,960	3,028

（単位：億円）

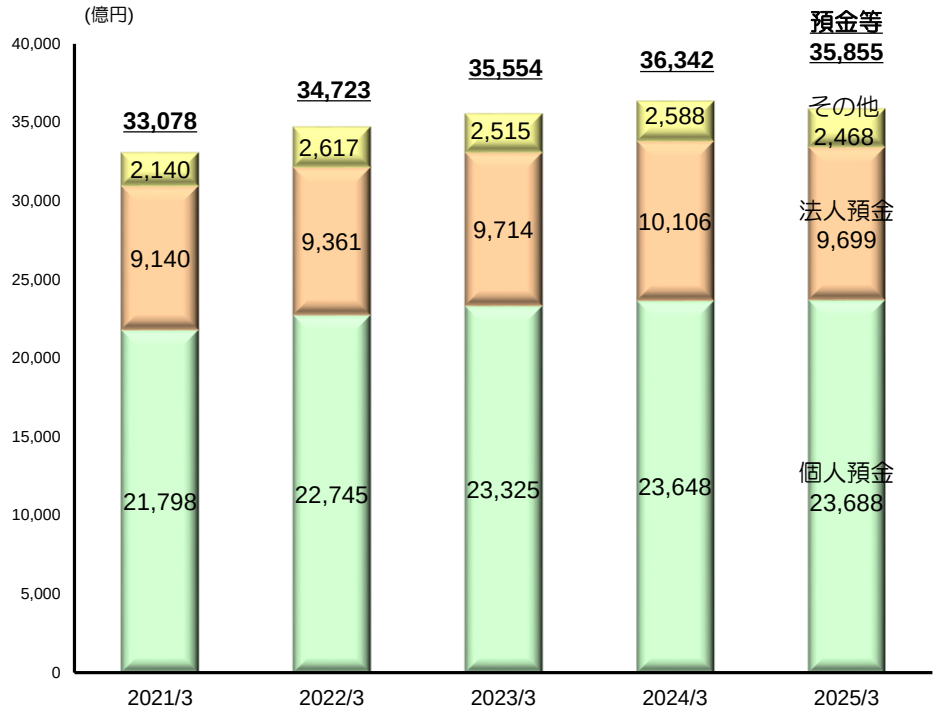
	2025年3月末	2024年9月末比		2024年3月末比		2024年9月末	2024年3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	21,971	1.3%	300	3.1%	673	21,671	21,298
事業性貸出金	11,385	1.1%	133	2.3%	257	11,252	11,128
県内	7,237	0.7%	53	1.3%	98	7,184	7,139
県外	4,148	1.9%	80	3.9%	159	4,068	3,989
個人ローン	7,570	1.9%	147	6.7%	477	7,423	7,093
公共向け	3,016	0.6%	20	▲ 1.9%	▲ 61	2,996	3,077

1．総貸出金は、個人ローン及び事業性貸出金の増加により、前期末比1,204億円増加し、2兆2,823億円（増加率5.5%）となりました。
2．個人ローンは、商品改定（融資期間50年）効果等により住宅ローンが増加したことから、前期末比611億円増加し、7,935億円（増加率8.3%）となりました。
3．事業性貸出金では、県内での金融仲介機能の発揮を目的としたバスケットファンドの推進に加え、東京・大阪地区での貸出金増強等により前期末比524億円増加し、1兆1,791億円（増加率4.6%）となりました。
4．中小企業等貸出比率は、東京・大阪地区での「リスクアセットとリターンを意識した貸出」の増強により前期末比0.23%低下し、74.06%となりました。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

6 預金等の状況

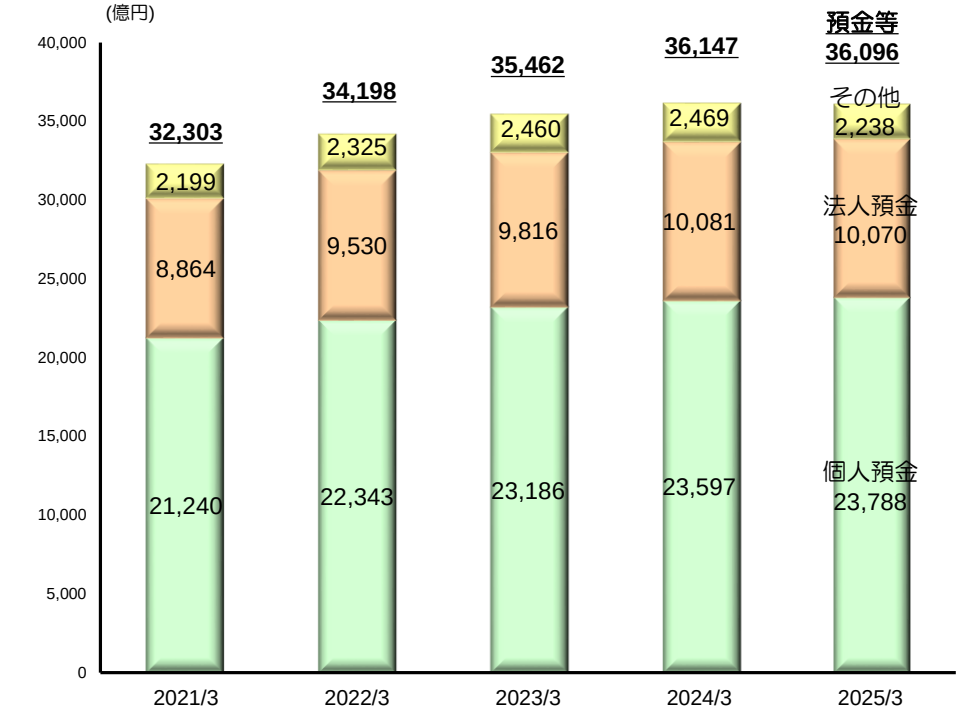
預金等末残推移



（単位：億円）

	2025年3月末	2024年9月末比		2024年3月末比		2024年9月末	2024年3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
預金等	35,855	▲ 0.3%	▲ 136	▲ 1.3%	▲ 487	35,991	36,342
個人預金	23,688	0.1%	24	0.1%	40	23,664	23,648
法人預金	9,699	▲ 1.7%	▲ 177	▲ 4.0%	▲ 407	9,876	10,106
その他	2,468	0.6%	17	▲ 4.6%	▲ 120	2,451	2,588

預金等平残推移



（単位：億円）

	2025年3月末	2024年9月末比		2024年3月末比		2024年9月末	2024年3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
預金等	36,096	▲ 1.0%	▲ 383	▲ 0.1%	▲ 51	36,479	36,147
個人預金	23,788	0.1%	28	0.8%	191	23,760	23,597
法人預金	10,070	▲ 0.8%	▲ 89	▲ 0.1%	▲ 11	10,159	10,081
その他	2,238	▲ 12.5%	▲ 322	▲ 9.3%	▲ 231	2,560	2,469

コロナ禍において、助成金、給付金や借入金の増加を背景に法人預金、個人預金は増加していましたが、物価高騰によるコスト増加や人件費上昇、コロナ資金の返済等に自己資金を活用したことによる法人預金等の減少を主因として、預金等末残は3兆5,855億円（前期末比▲487億円、減少率1.3%）、預金等平残は3兆6,096億円（前期末比▲51億円、減少率0.1%）となりました。一方、個人預金は末残、平残ともに増加しました。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

7 有価証券の状況

有価証券末残

（単位：億円）

	2025年3月末	2024年9月末比	2024年3月末比	2024年9月末	2024年3月末
有価証券	13,411	▲ 475	▲ 596	13,886	14,007
国債	2,102	▲ 161	▲ 215	2,263	2,317
地方債	2,812	▲ 260	▲ 212	3,072	3,024
社債	2,203	▲ 72	▲ 208	2,275	2,411
株式	1,173	13	▲ 36	1,160	1,209
その他	5,121	5	75	5,116	5,046
外国証券	2,268	110	137	2,158	2,131
投資信託等	2,853	▲ 105	▲ 62	2,958	2,915

1．有価証券は、国債、地方債及び社債の減少により前期末比596億円減少し、1兆3,411億円となりました。

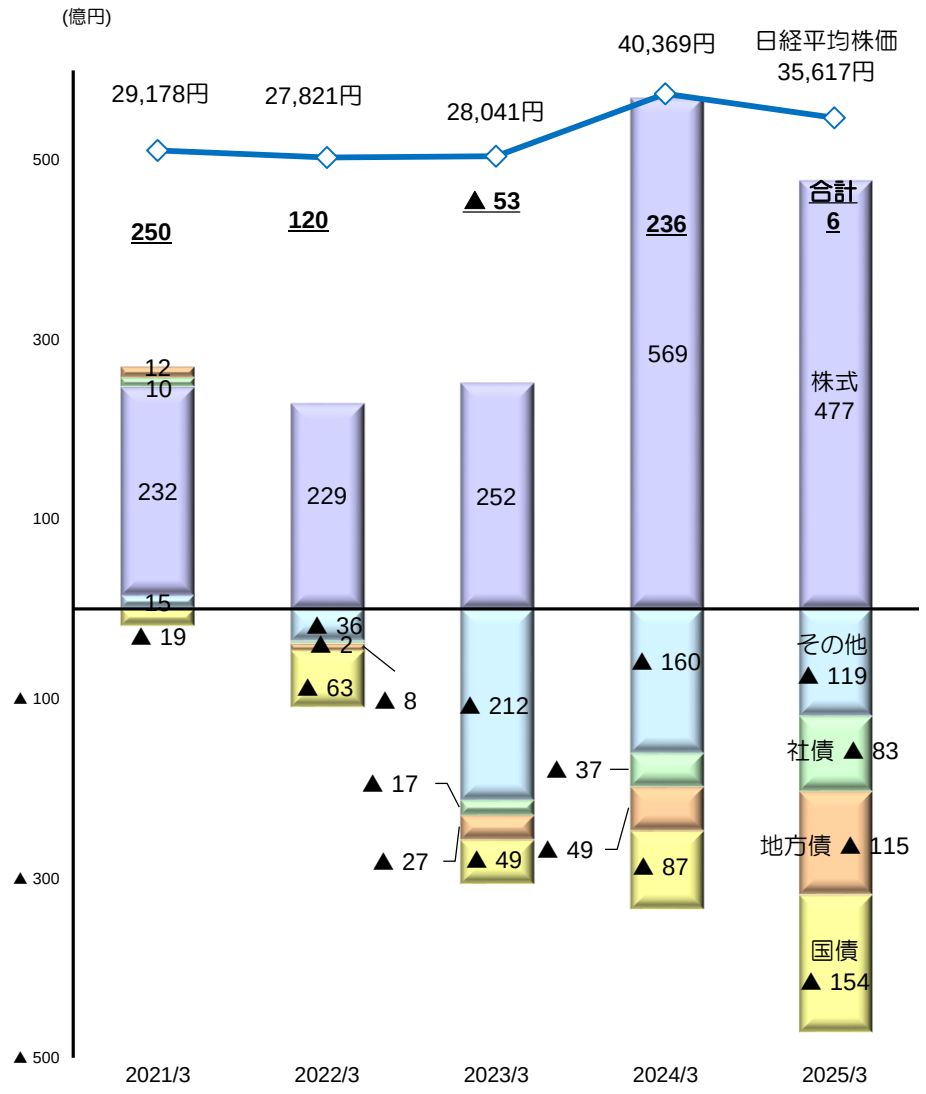
有価証券の評価損益

（単位：億円）

	2025年3月末			2024年3月末			増減
	評価損益 (A)	評価益	評価損	評価損益 (B)	評価益	評価損	評価損益 (A)-(B)
有価証券	6	536	530	236	639	402	▲ 230
株式	477	494	16	569	580	11	▲ 92
債券	▲ 352	0	352	▲ 173	4	177	▲ 179
その他	▲ 119	42	160	▲ 160	54	214	41
外国証券	▲ 28	4	32	▲ 25	8	33	▲ 3
投資信託等	▲ 91	37	128	▲ 135	45	181	44

2．国内で株価の下落および金利上昇が進む中、評価損益は前期末比230億円減少しましたが、株式の評価損益を477億円確保したことから、評価損益全体で6億円のプラスとなりました。

有価証券評価損益の推移



© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.

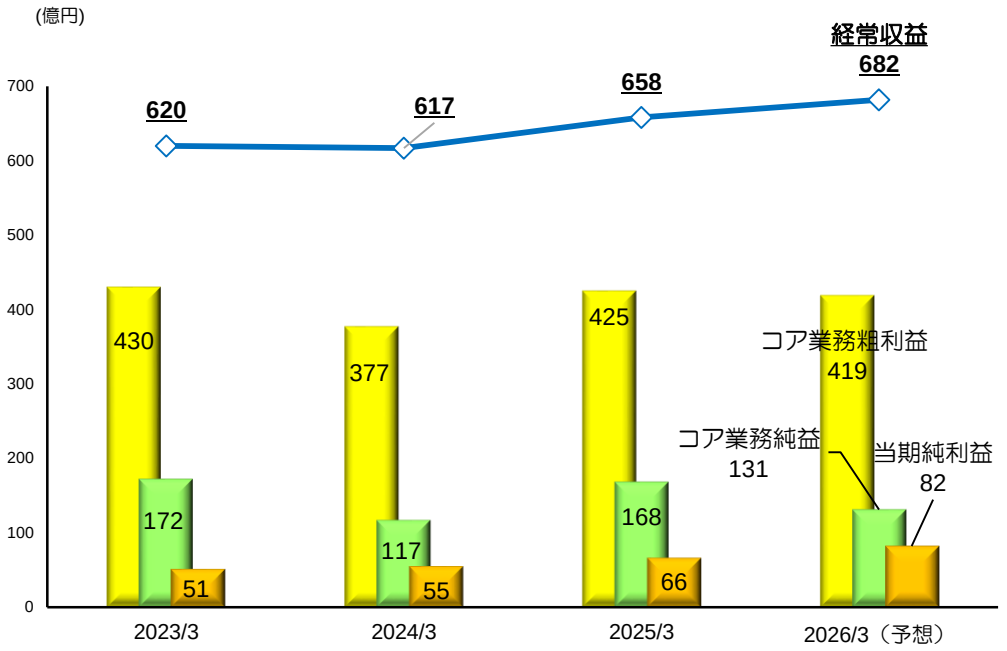
8 2026年3月期　業績予想

（１）連結・単体ともに増収増益の予想。（連結は４期連続、単体は２期連続増収増益の見通し）
（２）経常収益は、貸出金利息等の資金運用収益の増加により増収となる見込み。
（３）一方、経常費用では預金利息や経費等の増加を見込んでいるものの、国債等債券損益（５勘定尻）の改善が予想されることから、経常利益および当期純利益は増益となる見込み。

【単体】

（単位：億円）

	2026年3月期予想	2025年3月期実績	増　減
経常収益	682	658	24
コア業務粗利益	419	425	▲ 6
資金利益	410	426	▲ 16
役務取引等利益	69	76	▲ 7
その他業務利益（除く５勘定尻）	▲ 60	▲ 77	17
経費（除く臨時費用処理分）	288	257	31
コア業務純益	131	168	▲ 37
業務純益	127	44	83
国債等債券損益（５勘定尻）	▲ 3	▲ 118	115
株式等損益（３勘定尻）	4	53	▲ 49
与信費用	14	6	8
うち一般貸倒引当金繰入額	1	5	▲ 4
うち不良債権処理額	13	1	12
経常利益	120	96	24
当期純利益	82	66	16



【連結】

（単位：億円）

	2026年3月期予想	2025年3月期実績	増　減
経常収益	803	779	24
経常利益	132	111	21
親会社株主に帰属する当期純利益	90	75	15

※業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

© THE OITA BANK, LTD. All rights reserved.